

英語 北海道大学 総合入試【理系】、総合入試【文系】、学部入試【全学部】

<全体分析>

試験時間

90分

解答形式

記述・客観併用

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

出題の特徴

例年通りの読解総合2題、英語表現1題、要約文完成1題の出題であった。読解問題は内容把握に重点が置かれた出題となっている。表現問題は英語の文章を読んだ上で英文を書くという独自の出題形式。さらに会話文の要約文を完成させる問題も独自の出題形式。

その他トピックス

- ・長文読解問題の英文の総語数：昨年度より幾分減少したが、今年度も長文化傾向が続いている。
- ・内容一致文選択問題の選択肢の数：昨年の大問2は9から3選ぶ形式であったが、今年度は例年通りの6または7から2つ選ぶ形式に戻った。
- ・要約文完成問題：(4)と(7)が要約文中にそれぞれ2カ所あった。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	読解総合	メディアによるステレオタイプ化の危険性 (770語)	1. 下線部を日本語に訳す。 2. 2つの空欄に共通して入る適切な語を選ぶ。 3. 下線部が意味する内容を表す語句を選ぶ。 4. 下線部を日本語に訳す。 5. 空欄に入る適切な語句を選ぶ。 6. 内容に一致しないものを選択する。(6から2)	やや難 やや易 標準 やや難 やや難 標準
2	読解総合	テクノロジーが影響する言語の消失 (858語)	1. 下線部の意味する内容として適切なものを選ぶ。 2. 下線部を日本語に訳す。 3. 下線部を日本語に訳す。 4. 空欄に入る適切な語を選ぶ。 5. 下線部の意味する内容として適切なものを選ぶ。 6. 内容に一致するものを選択する。(7から2)	標準 標準 やや難 やや難 標準 標準
3	英語表現	外国の食文化の自国の伝統料理への影響 (593語)	A 本文の内容に合うように文を完成する。 B 本文の内容に合うように文を完成する。 C 外国の食文化が自国の伝統料理に影響を及ぼすことは是か非か。(70語から100語)	標準 標準 標準
4	要約文の空欄補充	日本企業の「ワークライフバランス」の取り組み 会話文(711語) 要約文(330語)	会話文の要約文を完成する。 (空欄12カ所、選択肢24)	やや難

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として、判断しています。

<学習対策>

- ・ 北大の読解問題は、毎年設問形式に若干の変化は見られるものの、精読力と速読力の両方を求めている点
は同じである。したがって、正確に構造を把握し、指示語の内容を丹念に捉え、意味がはっきりしない表
現や内容を文脈から判断する読み方と、論旨の流れを速やかに捉える読み方の両方の完成をめざす必要が
ある。特に近年は長文化が進んでいるので、強弱をつけながら読みながら、内容一致文の選択肢と本文を
速やかに対応させる訓練をしたい。
- ・ 英語表現問題の **Question A、B** に関しては、英文を読むのに多くの時間を割けないので、設問に答えるた
めに必要な情報をすばやく探し出す読み方をする必要がある。また基本的な書き換えのパターンを身につ
けると同時に、表現を読み替える訓練も必要である。また、**Question C** に関しては、あるテーマに関して、
自分の考えの根拠を分かりやすく表現していく練習を積む必要がある。しかし、そのような実戦的訓練を
する前に、基本的な英文を正確に書けるようにしておくのは言うまでもない。
- ・ 要約文完成問題は「空所に入る品詞」を判断し「意味」を類推することで、要約文だけでもある程度解答
できるようにしておく必要がある。ふだん英文を読む際に単語や語句の使われ方に注意を払っていること
が品詞の判断力の基礎となる。さらに文と文のつながりを意識した読み方をする事で意味を類推する力
が養われるであろう。